

# 月刊セキュリティ研究

**前 国家公安委員会委員長に聞く 治安対策は国家の重要課題**

衆議院議員 前国家公安委員会委員長 **村田吉隆**

**情報に対するマインドが欠けたわが国に緊急提案**

衆議院議員 元防衛庁長官 **石破 茂**

危機管理体制

**緊急開催!**

**テロ災害・国民保護に関する特別無料セミナー**

6

2006

Security  
Specialist  
Association

特集

## 防犯カメラの効用

松下電器産業 三菱電機 日本ビクター ティービーアイ

注目の企業紹介 株式会社 銀座・トマト

Info

特定非営利活動法人 NBCR対策推進機構

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会

連載

情報セキュリティの話  
ニーモニックNEWS  
ザ・ボディーガード

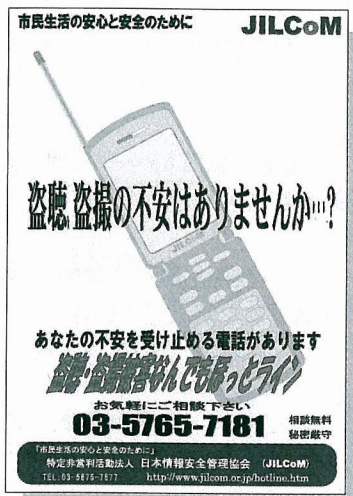
巻末  
特集

**セキュリティ業界有力企業一覧**



# 「市民生活の安心と安全のために」 盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン 東京都相談事業と協力体制

特定非営利活動法人  
日本情報安全管理協会  
通信傍受対策部門主任研究員  
長谷川 稔



日本情報安全管理協会では、「盗聴の不安があるが、どこに相談したらよいのか分からない。」「盗聴対策について、信用があって相談できるような会社

がどこなのか分からない。」「業者がたくさんいるにはいるが、技術力など不明瞭な点が多い。」というような一般消費者のニーズに応える為に、「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン」という無料相談窓口を開設しています。

毎月たくさんの方からの相談を受け付けています。電話対応時間は月曜～金曜の9:00～17:00になります。当協会が資格認定している情報安全管理士が担当し、電話での相談を受け付けます。盗聴に関する些細な疑問から盗聴探査の依頼まで、広く相談を受け付けています。実際に探査に来て欲しいというお客様には全国の情報安全管理士・通信傍受対策技士（専門の技術者）が派遣されます（派遣の場合は実費をご請求）。2004年に開設し、年間約200～300件の相談に対応しています。その様子は多数メディアなどにも取り上げられています。

この「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン」は東京都の相談事業である都民の声（東

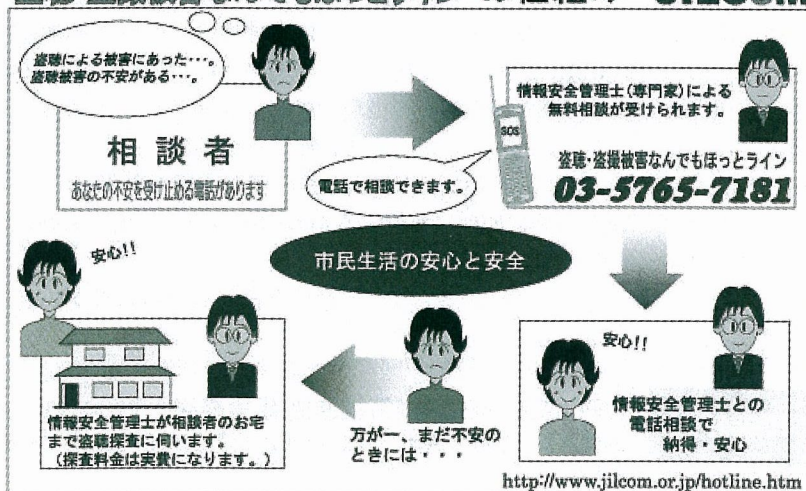
京都 生活文化局 広報公聴部）や区市町村の相談員が活用しているテレホンガイドに掲載されており、相談事業に関する協力体制を敷いております。

都民の声や市区町村にはこれまでも、どこに相談してよいかわからない一般消費者からの盗聴関連の相談もありましたが、ある程度の専門的な知識を要するため、一般の相談員の方では、対応が難しいとのこと。そのため「市民生活の安心と安全」「企業活動の安心と安全」を目指す当協会の「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン」のような専門窓口が必要とされているのです。

今後は、さらに「市民生活の安心と安全」「企業活動の安心と安全」の為、また、NPO法人としての社会的役割を果たすべく、国民生活センターや全国相談員協会と協働し、全国的に「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン」の仕組みを展開していこうと考えている次第です。

これからも相談者1人1人の声を聞き逃すことなく、活動を展開していく所存です。

## 盗聴・盗撮被害なんでもほっとラインの仕組み JILCoM



<http://www.jilcom.or.jp/hotline.htm>



### 情報安全管理士・通信傍受対策部門

## 第13回 通信傍受対策技士二種 資格認定試験のご案内

#### 1. 開催予定

資格種別	回次	開催日	開催地(受験会場)	定員	受験申請受付期間
二種	第13回	7/9(日)	東京会場 ちよだプラットフォームスクウェア	50名	受付中～6/30(金)

#### 2. お申込について

募集期間の間、当協会のホームページ上にて「受験申込書」をダウンロードして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にてお申込み下さい。

受験申込書を受付次第、受験票等の関係書類を送付させていただきますので、受験申請手続きを行ってください。

- <http://www.jilcom.or.jp>
- FAX：03-5765-3181
- 郵送：日本情報安全管理協会事務局宛  
〒108-0073 東京都港区三田2-14-5

ただし、申し込み多数の場合は、会場等の都合により先着順とさせていただきます。定員に達し受験できない方には別途お知らせいたします。

#### 3. 受験手続について

当協会より、受験申請書等の申請書類を送付しますので必要事項を記入の上、当協会事務局までご返送いただきます。

受験申請書に記入される場合は以下の2点が必要となります。

- ①顔写真 2枚(申請3ヶ月以内に撮影のもの。  
正面、上半身、脱帽。サイズ縦3cm×横2.4cm以上)
- ②受験料の払込書の写し(コピー)

当協会では、受験料のお振込顔写真確認の上、受験票とテキストを受験者の皆様にお送りいたします。

テキストは、試験勉強にお役立てください。受験票は試験当日必ずご持参下さい。

#### 4. 試験当日のタイムテーブル

(※時間割は会場の都合などにより、一部変更することもございます。)

使用テキスト



第13回 二種 2006年7月9日

10:00	会場受付開始
10:15～10:30	協会挨拶・連絡事項
10:30～12:00	筆記試験(90分)
12:00～13:00	休憩
13:00～17:00	技能試験(実技)・面接試験

#### 5. 受験希望者の方々へ

高度情報ネットワーク社会の到来により、通信傍受(盗聴防止)対策の意味合いが徐々に変わりつつあります。情報漏洩の危険性が多様化していく中で通信傍受対策も情報リスクマネジメントの一部門としての役割が問われています。

通信傍受対策技士は、そのような状況の変化に対応する為、グローバルスタンダードな通信傍受対策技術の一元化、画一化を確立すると共に、盗聴調査事業に従事する方々の地位の向上、従来の盗聴調査業との差別化を図るために実施されている資格認定試験です。

「市民生活の安心と安全」「企業活動の安心と安全」のために、ぜひ、合格を目指していただき、盗聴器・盗撮機器の探査、探索業務に携わって頂きたいと考えております。

本コーナーの  
お問い合わせは

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会

TEL：03-5765-7677 URL：<http://www.jilcom.or.jp>

担当：通信傍受対策部門 技術主任研究員 長谷川 稔

業務委託先：株式会社ジルコム総合研究所

TEL：03-5765-7177 URL：<http://www.jilcom.co.jp>

業務窓口：業務推進部 部長 三浦 亨二